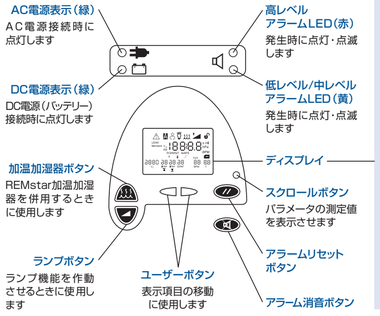
表示画面のマーク

■ 表示部・操作部



■ ディスプレイアイコン　※機種によってアイコンの配置は異なります。

⚠	使用者に対して注意を喚起しているときに点滅
A	無呼吸アラーム有効時に点灯、アラーム発生時に点滅
	患者回路外れアラーム有効時に点灯、アラーム発生時に点滅
	ボタンのバックライトがオン時に点灯、設定時に点滅
	加温加湿器がオン時に点灯、温度設定時に点滅
	ランプ機能作動時に点灯
	ランプ開始圧設定時に点滅
	アクセスレベルが医療従事者モードのときに点灯
LEAK	平均リーク量表示中に点灯
MinVent	分時換気量表示中に点灯
V_{TE}	一回呼気量表示時に点灯 アラーム時に点滅
RR	呼吸数表示時に点灯

AVAPS	AVAPS有効時に点灯
	治療時間の表示時に点灯
	ライズタイム有効時に点灯、設定時に点滅
FLEX	Flex有効時に点灯、設定時に点滅
	スマートカードが挿入されているときに点灯、アラーム時に点滅
V_T	一回換気量設定
IPAP	IPAP圧設定
IPAP ▼	最小IPAP圧設定
IPAP ▲	最大IPAP圧設定
PRESS ▲	最大圧設定
EPAP ▼	最小EPAP圧設定
EPAP ▲	最大EPAP圧設定
PS ▼	最小PS圧設定
PS ▲	最大PS圧設定
EPAP	EPAP圧設定
BPM	呼吸回数設定
T_i	吸気時間設定

アラーム発生時の対応

■ 標準的な対処手順

① 表示と音を確認し、該当するアラームが何であるか確認します。
② アラーム消音ボタン（）を押してアラーム音を一時停止させます（1分間）。
③ 下の表を参考に原因を把握し、対処します。
④ 対処が完了したらアラームリセットボタン（）を押します。
⑤ アラーム状態が解除されない場合は、もう一度対処を行ってください。

■ アラームトラブルシューティング

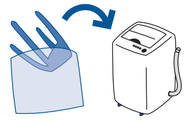
	LED	アラーム音	ディスプレイメッセージ	機器の状態	原因	対処
低レベル	黄点灯	● ●	点滅 エラーコード：Cxx 表示	作動	スマートカードの異常、またはスロットに正しく挿入されていない	スマートカードが正しくスロットに挿入されているか確認してください。それでもアラームが再発する場合はかかりつけ医療機関に連絡してください。
	黄点灯 点滅	● ●	表示なし	作動	AC電源と外部DCバッテリーを接続している場合は、AC電源からの電力供給が断たれ、DCバッテリー駆動に切り替わった	AC電源の接続を確認してください。確実な電源を使用してください。
					外部DCバッテリーのみを接続している場合は、告知目的（起動時）	対処は不要です。
	黄点滅 点滅	● ●	表示なし	作動	外部DCバッテリーのみ使用時 →DCバッテリー検出ラインに異常 AC電源と外部DCバッテリー同時接続時 →AC電源（アダプター）の電圧が低い	再起動を行ってください。アラームが再発する場合はかかりつけ医療機関に連絡してください。
中レベル	黄点滅 点滅	● ● ●	表示なし	作動	（外部DCバッテリー使用時） バッテリー電圧が低下している	充電された別のDCバッテリーに交換してください。
高レベル	赤点滅	●●● ●●	⚠ 点滅	作動	呼吸回路の外れ、または大量の空気もれが発生した	呼吸回路を再接続するか、空気もれを是正してください。
	赤点滅	●●● ●●	⚠ A 点滅	作動	治療中に患者が無呼吸状態になった	介護者は患者の容態を確認し、無呼吸状態になったことをかかりつけ医療機関に報告してください。
	赤点滅	●●● ●●	⚠ MinVent 点滅	作動	分時換気量が設定値を下回った	介護者は患者の容態を確認し、分時換気量が低下したことをかかりつけ医療機関に報告するようにしてください。
	赤点滅	●●● ●●	⚠ V_{TE} 点滅	作動	一回呼気量が設定値の90%に低下した	介護者は患者の容態を確認し、一回呼気量が低下したことをかかりつけ医療機関に報告するようにしてください。
	赤点滅	●●● ●●	⚠ 点滅 エラーコード：Exx 表示	停止	機器が故障した	再起動を行ってください。アラームが再発する場合はかかりつけ医療機関に連絡してください。
	赤点滅	●●● ●●	⚠ hPa 点滅	作動	大量のリークまたは閉塞がある	背部フィルタの汚れ・閉塞、呼吸回路のもれを確認してください。それでもアラームが再発する場合はかかりつけ医療機関に連絡してください。
	赤点灯	■ ■	表示なし	停止	（外部DCバッテリー使用時）バッテリーが放電した	充電された別のDCバッテリーに交換してください。
					AC電源からの電力供給が断たれた	AC電源の接続を確認してください。それでも起動しない場合はかかりつけ医療機関に連絡してください。

お手入れ方法と周期

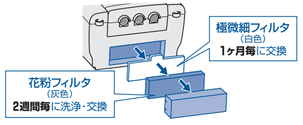
■ 機器と付属品のお手入れ

機器および付属品は、それぞれお手入れの方法やその周期が異なります。
安全で快適にお使いいただくために、以下のお手入れを行ってください。

毎 日	1週間	2週間	1ヶ月
マスクと呼吸回路は中性洗剤をうすめたぬるま湯で洗浄します。その後、よくすすぎ、風通しの良い所で日陰干しします。	ヘッドギアはマスクからはずして中性洗剤をうすめたぬるま湯でもみ洗いします。	花粉フィルタ（灰色）を交換します。フィルタは必ず乾いているものをお使いください。使用後のフィルタは洗浄し、日陰干ししてください。	極微細フィルタ（白色）を交換します。使い捨てですので、新しいものをお使いください（極微細フィルタはオプションとなります）。



洗たく機を使用する際は洗たく用ネットに入れてください。



■ 加温加湿器のお手入れ

※BiPAP装置の使用後、電源コードを抜き、機器とチェンバーの水が常温に冷めてから行います（15分程度）。

チェンバー（目安：毎日）

チェンバーは下部のフタを開けて、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗います。必ずきれいな水ですすいでから、乾いた布などで水気を拭き取り日陰干しします。

加温加湿器本体（目安：2週に1回）

機器の表面を湿らせた布で拭きます。

それぞれの物品は必ず完全に乾いてから使用してください。

⚠ 次の方法でのお手入れはおやめください

マスクや呼吸回路をベンジン、アルコール、塩素系洗剤などで洗わないでください。

日当たりの良い所でマスクや呼吸回路を干さないでください。

機器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡ください。
お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけ医療機関・取扱業者名などを必ずお伝えください。

● かかりつけ医療機関	● 機器取扱業者・営業所

■ 技術サービスは24時間対応

平日 9:00～18:00　地域営業所・出張所・駐在
夜間・土休日受付（営業所・出張所・駐在の対応日・対応時間外 受付）　機器安全センター
0120-633-881

製造販売業者
フィリップス・レスピロニクス合同会社
〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目825番地1
本社 〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号 フィリップスビル
マーケティング部 03-3740-3245
www.philips-respironics.jp

© 2011 Philips Respironics GK PN 1052781 110314 R2-W

BiPAP（バイパップ）シリーズの使い方

※本書は取扱説明書にかわるものではありません。必ず正式な取扱説明書をご覧ください。

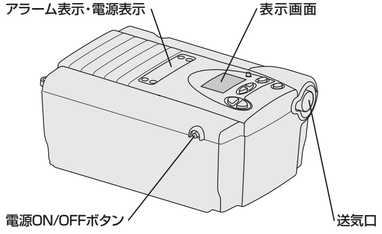
あなたがお使いのBiPAP装置は以下の機種です

☐ BiPAP Harmony（バイパップ ハーモニー）　☐ BiPAP Synchrony2（バイパップ シンクロニー2）　☐ BiPAP autoSV シリーズ（バイパップ オートSV）

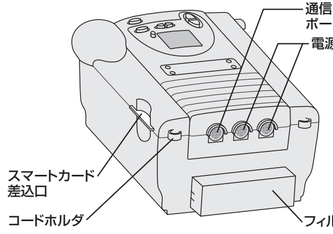
付属の患者用取扱説明書を参照し、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

BiPAP装置各部の説明

■ 機器前面



■ 機器背面



ご使用の際は、以下の備品がセットされていることを確認してください

■ フィルタの取付け

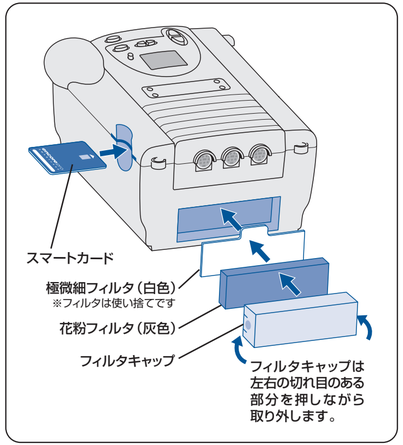
右図のように付属のフィルタを機器に取付けます。
極微細フィルタは「網目状の面を機器側」にしてはめ込みます。

極微細フィルタはオプションです。

■ スマートカードの挿入

機器使用時には右図のようにカードを背面の差込口に差込みます（カードの向きに注意してください）。

正常にセットされた場合は表示画面に ⟵ F が表示されます。
（数字表示は使用時間により異なります。）

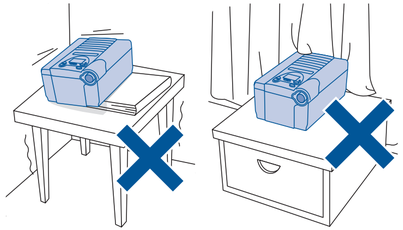


機器の準備

1 機器の設置

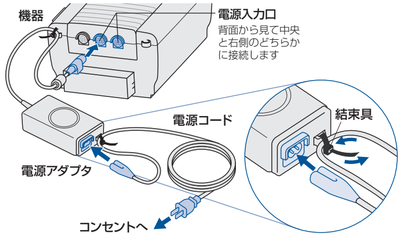
機器をしっかりとした平らな台などに置きます。

フィルタ収納部（空気取込み口）がカーテン布などでふさがれていないことを確認してください。



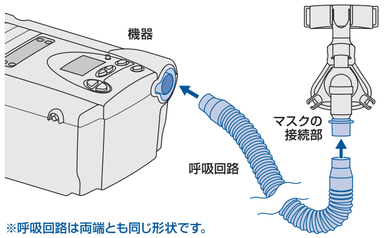
2 電源コード・アダプタの接続

電源アダプタのプラグを機器背面の電源入力口に差し込みます。電源コードと電源アダプタを図のように接続し、電源コードをコンセントに差し込みます。



3 呼吸回路の接続

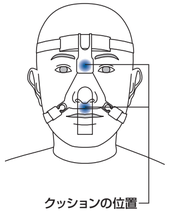
呼吸回路の一方を機器前面の送気口に接続し、もう一方をマスクに接続します。

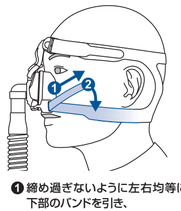


※呼吸回路は両端とも同じ形状です。

4 マスクの装着

マスクを鼻にあて、ヘッドギア（バンド）で固定します。この時、目の方への空気もれとヘッドギアのしめすぎに注意してください。





❶ 締め過ぎないように左右均等に下部のバンドを引き、
❷ マジックテープでとめてください。

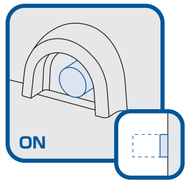
※マスクの種類により、装着方法が異なるものがあります。
詳しくはマスクの取扱説明書を確認してください。

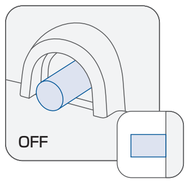
治療の開始と終了

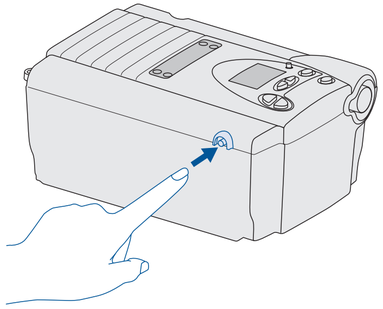
1 送気の開始

電源ON/OFFボタンを押すと送気を開始します。

※ 空気が送られてきたら口を閉じ、鼻だけで呼吸してください。







ランプボタン

ランプボタンを押すと送気が最小ランプ圧まで下がり、徐々に治療圧へ上昇します。

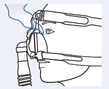
※ランプ圧は医師の処方にて設定されています。

マスクの呼気ポートについて

マスクの呼気ポートは、使用する方の呼気を逃がすためにあります。機器の動作中は常に空気がもれていることを確認して使用してください。

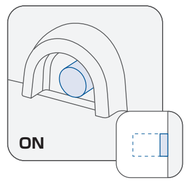
マスクが下に向いていると…

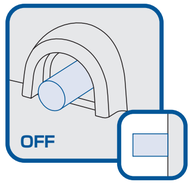
目の方に空気もれが多くなるため、額アームとストラップを調整してください。

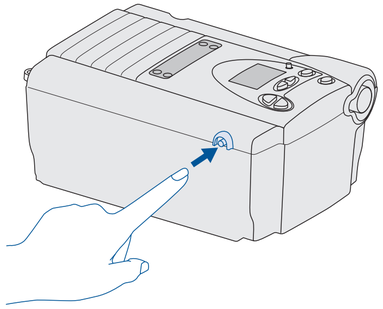


2 送気の停止

動作中に機器側面の電源ON/OFFボタンを押すと送気が停止します。







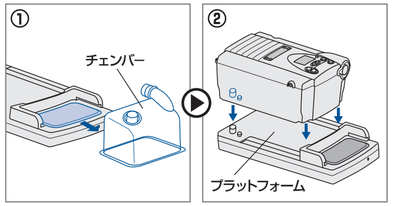
機器を使用しないとき（日中など）は、電源コードはコンセントから抜いておくことをおすすめします。
また、機器・呼吸回路・マスクなどは直射日光を避け、ホコリのかからない場所で保管してください。

加温加湿器の組み立て・使用手順

1 機器本体を装着します。

①チェンバーを前へスライドさせてはずします。

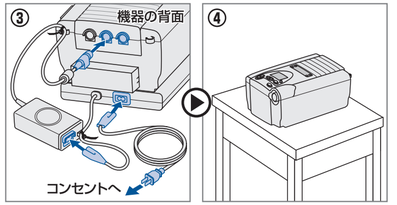
②加温加湿器プラットフォームに機器本体をのせます。



2 機器本体と加湿器に電源アダプタを接続し、設置します。

③図の様に電源コードと電源アダプタを機器本体と加湿器に接続します。

④機器を設置する際はしっかりとした平らな台などに置きます。



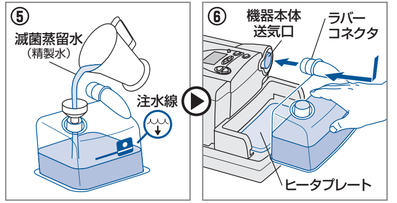
3 チェンバーに水を入れ、機器にセットします。

⑤付属のろうとを使用し、滅菌蒸留水（精製水）を給水してください。

※ ▲▲▲ のマークを超えて給水しないでください。

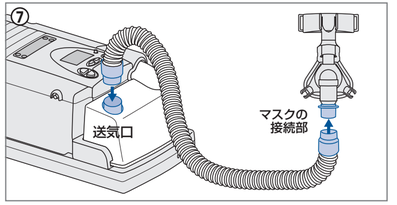
⑥チェンバーでヒータプレートを押し下げながら、スライドさせます。

※機器本体の送気口にラバーコネクタをしっかりと接続します。



4 呼吸回路を接続します。

⑦チェンバーの上部にある送気口に呼吸回路の一方を接続し、もう一方をマスクに接続します。



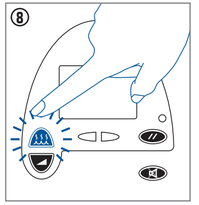
5 加温加湿器のスイッチを入れます。

⑧機器本体の ▲▲▲ マークを押すとチェンバーの加温が始まります。

※機器使用前に予熱で水を温めることができます。20分以内に機器の送気を開始をしない場合、自動でオフになります。

機器本体のスイッチをオンにすると送気がはじまります。

※機器本体をオフにすると自動的に加温加湿器もオフになります。



⚠使用上のご注意

※加温加湿器には必ず滅菌蒸留水（精製水）を使用してください。

※使用する前に必ず水量を確認してください。

※チェンバーは毎日洗浄し、使用してください。